

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：120124					
疾病・障害論ⅡC（慢性期） Internal Medicine ⅡC					
担当教員	多久和 典子				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	脳・神経系、血液・造血器系、免疫系、アレルギー・膠原病				
学習目的・目標	目的：中枢神経・末梢神経の解剖と生理、血液細胞の形態と機能・造血のしくみ、免疫のしくみについての基礎知識を復習し定着させましょう。その上で、主要疾患の臨床（疾患概念と病態、症候、検査、診断、治療、患者指導・ケアのポイント）を学びます。目標：解剖と生理の基礎知識に立脚して疾患の病態を理解し、その観点から患者の症状と徴候を説明できる。検査法と治療の原則について正しく説明できる。患者の生活指導の要点を説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-6	<p>脳・神経・筋疾患</p> <p>1. 基礎：中枢神経（脳・脊髄）、末梢神経（体性神経・自律神経）の解剖と生理、大脳皮質の機能局在、小脳機能、脳室系、髄液の産生と吸収、髄膜構造、血管系、脳神経の機能、随意運動の伝導路、反射、脊髄神経根、デルマトーム、馬尾ほか</p> <p>2. 臨床：症候学・神経学的診察（意識障害、JCS、高次脳機能障害、失語症、髄膜刺激徴候、頭蓋内圧亢進、脳ヘルニア、神経原性運動麻痺（中枢性と末梢性）、錐体路徴候、錐体外路障害、運動失調、不随意運動、構音障害、感覚障害）、検査（髄液検査、画像診断、神経生理検査）主要疾患（脳血管障害（脳血栓症、TIA、脳血管性認知症、脳塞栓症、脳出血、クモ膜下出血）、神経変性疾患（パーキンソン病、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症（ALS））、脱髄性疾患（多発性硬化症、ギラン・バレー症候群）、重症筋無力症、筋ジストロフィー、神経系の感染症（髄膜炎、脳炎、脳膿瘍、クロイツフェルト・ヤコブ病）、脳腫瘍（原発性脳腫瘍、転移性脳腫瘍）、てんかん）など</p>				
7-11	<p>血液・造血器疾患</p> <p>1. 基礎：多能性造血幹細胞、造血因子（エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF））、白血球の種類と機能、止血のしくみ（血小板と凝固因子）</p> <p>2. 臨床：症候学（貧血、易感染性、出血傾向、リンパ節腫脹）、検査・治療（血算・血液像、骨髄穿刺、リンパ節生検、多剤併用化学療法、分子標的治療薬、造血幹細胞移植、輸血）主要疾患（貧血（再生不良性貧血、巨赤芽球性貧血、鉄欠乏性貧血、溶血性貧血）、急性白血病（急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病）、慢性骨髄性白血病、真性多血症、骨髄線維症、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、出血性疾患（特発性血小板減少性紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群（DIC））など</p>				
12-15	<p>膠原病・アレルギー性疾患</p> <p>1. 基礎：自然免疫と獲得免疫、免疫寛容、抗体、補体、アレルギー反応の4型、炎症、サイトカイン、化学伝達物質</p> <p>2. 臨床：症候学（関節炎、不明熱、レイノー症状、皮疹、日光過敏）、検査・治療（自己抗体、血清補体価、NSAIDs、ステロイド大量療法の注意点、生物学的製剤）主要疾患（膠原病とその関連疾患（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎、血管炎症候群、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、ベーチェット病）、アレルギー性疾患（蕁麻疹、アレルギー性鼻炎、食物・薬剤アレルギー、アナフィラキシーショック、小児喘息、アトピー性皮膚炎））など</p>				
教科書	(1) 看護のための臨床病態学（南山堂） (2) 看護師・看護学生のためのレビューブック（メディックメディア）				
参考図書等	病気がみえる（メディックメディア）：vol.5（血液）、vol.6（免疫・膠原病・感染症）、vol.7（脳・神経） 系統看護学講座（医学書院） 専門分野II [7] 脳・神経、[4] 血液・造血器、[11] アレルギー・膠原病 看護師国試対策START BOOK 解剖生理と疾病の特性（南山堂）：看護師国家試験へのウォーミングアップ カラー図解 人体の正常構造と機能（日本医事新報社）				
評価指標	・成績判定の対象者：出席2/3以上、課題をすべて提出している。・定期試験の結果100%で評価する。				
関連科目	疾病・障害論ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB 看護学、とくに基礎看護学、成人看護学、老年看護学の各科目 フィジカルアセスメント 人間機能学Ⅰ, Ⅱ 人間病態学Ⅰ, Ⅱ 臨床栄養学 人類生物学				
教員から学生へのメッセージ	教科書(1)を読んで予習し、講義内容を(2)に補足記入して復習しmy textを作り上げ、実習で活用しましょう。患者・医療者双方から信頼されるプロフェッショナルをめざしましょう。				